

一般会計の歳出を市民1人あたりに置き換えると…

**1人当たりの合計金額
31万4,547円**

総務費

4万4,924円

庁舎の管理、戸籍・税務・広報等の事務やN-バスの運行など



土木費

3万9,279円

道路、公園、河川の整備や維持など



衛生費

2万2,322円

健康の増進、ごみ処理など



教育費

5万9,068円

学校・文化・スポーツ施設等の運営など



公債費

9,902円

市債等の返済など



議会費

3,285円

市議会の運営など



農林水産業費

2,828円

農業の振興、地産地消の推進など



商工費

2,053円

商工業の振興など



平成29年度の一般会計の歳出を、市民1人当たりの金額に置き換えて算出しています。*平成29年度末人口57,466人で計算

特別会計

特別会計は、市が特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入が財源となり、支出するため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	42億1,335万円	40億6,306万円
土地取得特別会計	1,834万円	1,834万円
公共下水道事業特別会計	15億5,924万円	12億2,889万円
農村集落家庭排水施設特別会計	1億965万円	6,706万円
介護保険特別会計	23億7,700万円	23億1,476万円
後期高齢者医療特別会計	8億4,159万円	8億3,754万円
卯塚墓園事業特別会計	1億7,042万円	1億6,933万円
公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計	11億3,525万円	10億2,567万円
合計	104億2,485万円	97億2,467万円

*各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものです。また、その内訳は合計と一致しない場合があります。

プチコラム

他市町の状況を見てみよう！

平成29年度決算において、地方自治体の行政需要への対応能力を示す経常収支比率は右記のとおりでした。

経常収支比率を見ることで、市税など毎年度決まって収入されるお金が、扶助費などの義務的経費や施設の管理費など必ず支払わなければならない経費にどれ位使われているかがわかります。数値が低いほど、自由に使えるお金の比率が高いという見方ができます。

経常収支比率	
長久手市	86.9%
県内都市平均	86.1%
県内類似団体平均	88.5%



今後、今ある施設の改修や更新、扶助費をはじめとした社会保障費の支出増加が見込まれているよ。限りある財源を有効に活用していかないとイケないね。